

被爆資料を世界に発信する「ヒロシマ・アーカイブ」が大幅バージョンアップ

被爆 70 周年を迎える今年、首都大学東京システムデザイン学部の渡邊英徳研究室は、広島女学院中学高等学校と共同で、膨大な被爆資料と最先端技術を融合した多元的デジタルアーカイブズ「ヒロシマ・アーカイブ」を大幅にバージョンアップし、「広島原爆の日」の一ヶ月前となる 7 月 6 日に公開しました。

証言資料の英語化・被爆者インタビュー動画の掲載・国土地理院の空中写真及び標高データの追加など、コンテンツを拡充しました。さらに、iOS・Android のスマートフォンとタブレット端末にも対応しました。今回のバージョンアップにより、「ヒロシマ・アーカイブ」は、被爆地・広島の平和への願いを、未来の世界に向けて発信する、国際的なデジタルアーカイブズに生まれ変わります。

【背景】

「ヒロシマ・アーカイブ」は、被爆者の貴重な証言と原爆の記録を未来に遺すことを目的として、2011 年 7 月に発表されました。広島平和記念資料館、広島女学院中学高等学校、八王子市原爆被爆者の会などから提供された資料を一元化し、デジタル地球儀にマッピングした「多元的デジタルアーカイブズ」です。

なかでも、広島女学院中学高等学校生徒有志による被爆者インタビューの動画資料は、これまでに被爆体験を公に語ったことのない被爆者の声も収録されており、広島原爆の実相を伝える貴重なものとなっています。

生徒有志による被爆者インタビューは、現在も継続中です。この取り組みを通して、被爆者と若者たちをつなぐコミュニティ形成も進んでいます。

- ヒロシマ・アーカイブ公式ウェブサイト
<http://hiroshima.mapping.jp/>



【バージョンアップの概要】

【資料の英訳】

被爆者の証言・資料 113 件を英訳し、「ヒロシマ・アーカイブ」に掲載しました。このことにより、国際的な情報発信が可能になりました。この英訳作業はボランティアを中心に進められており、現在も協力者を募集中です。

【被爆者インタビュー動画掲載】

広島女学院中学高等学校の生徒有志による被爆者インタビュー動画 25 編を掲載しました。表情と声が収録された動画により、文書では汲み取りにくい被爆者の思いが直接伝わります。インタビュー活動は生徒たちによって継続されており、今後も順次、資料を掲載していく予定です。

【国土地理院のデータ追加】

国土地理院がオープンデータとして公開している 1945 年～1950 年に撮影された空中写真と、標高タイルデータを追加しました。このことにより、被爆直後／復興後の広島市街を比較することができるようになりました。

【スマートフォン対応】

Google Earth API からオープンソース・ソフトウェアに移植し、PC に加えて、スマートフォン・タブレットでも表示可能になりました。さらに、AR（拡張現実）機能を備えたアプリも配信しています。このことにより、現実の広島風景に、被爆資料を重ねあわせて閲覧することが可能になりました。

【問合せ先】

首都大学東京

システムデザイン研究科 インダストリアルアート学域 准教授 渡邊英徳

TEL: 042- 585-8606

E-mail: hwtnv@sd.tmu.ac.jp

URL: <http://labo.wtnv.jp/>

広島女学院中学高等学校

グローバル教育推進部部長 英語科教諭 ^{たかみちのぶ}高見知伸

TEL: 082-228-4131

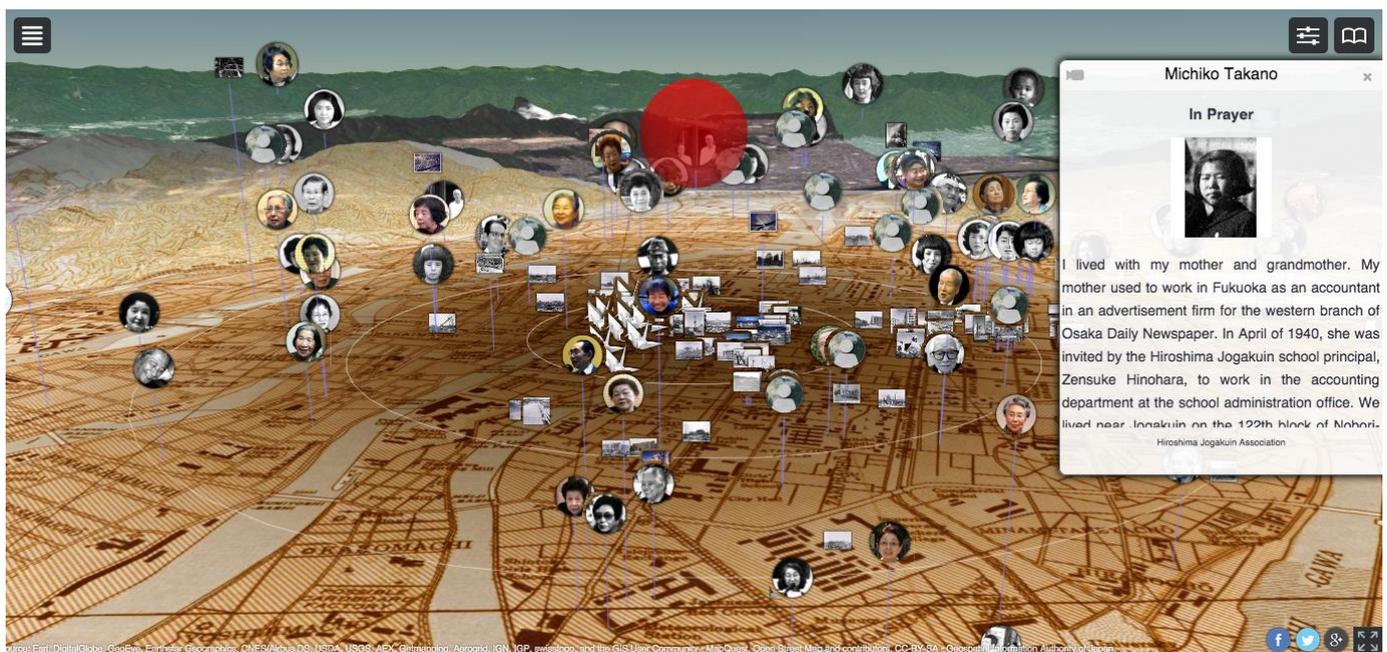
E-mail: takami@hjs.ed.jp

URL: <http://www.hjs.ed.jp/>

「ヒロシマ・アーカイブ」について

「ヒロシマ・アーカイブ」は、広島原爆に関する多面的な資料をデジタル地球儀上に一元化し、被爆の実相についての理解を促すことを目的として制作された多面的デジタルアーカイブズです。

URL: <http://hiroshima.mapping.jp/>



●掲載資料の内訳 (2015年7月6日現在)

○英語化資料 113件

- 広島女学院同窓会提供「平和を祈る人たちへ」58件
- 八王子市原爆被爆者の会提供「原爆被爆60年」29件
- 中国新聞社提供「記憶を受け継ぐ」26件

○日本語資料 55件

- 日本バプテスト広島キリスト教会提供「語り継ぐ」6件
- 足立区在住被爆者の会提供「原子雲」1件

- NGO Ant-Hiroshima 提供「ビデオ証言」1 件
- 広島女学院中学高等学校有志「ビデオ証言」25 件
- 広島女学院中学高等学校有志「平和公園碑巡り」12 件

○写真資料 145 件

- 広島平和記念資料館提供写真 145 件

○国土地理院のオープンデータ

- 空中写真（1945 年～1950 年撮影）
- 標高タイルデータ



●資料の英語化について

八王子市原爆被爆者の会「原爆被爆 60 年」の英訳は、ウェブ上のボランティアの協力を得て進められました。また、中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンターからは、同社の記事「記憶を受け継ぐ」の英語版が提供されています。現在、全 113 件の英語化資料が掲載されています。プロジェクトでは、引き続き、英訳の協力者を募っています。

○英語記事提供

- 中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター
- 広島女学院同窓会

○英訳協力者

- 島田淳司（三井物産株式会社）
- 辻大和クリスチャン（Accenture Japan, Corporate Functions (CF)）
- 川久保奈美
- 竹井幸智子（広島女学院中学高等学校ヒロシマ・アーカイブ担当）

●その他

○地図データ技術協力者

- 大塚恒平（Code for Nara）

【用語解説】

• 標高タイル

地形を表現するために、画素（ピクセル）毎の高度（m）を取得できるようにした地図タイルデータ。

• AR（拡張現実）

現実環境を、コンピュータ技術を用いて拡張する技術。「ヒロシマ・アーカイブ」では、位置情報に基づいた情報提示を行う「ロケーションベース」の AR 技術を利用。